

自分の身体は、自分で守ろう！！

「CKD医療講演会が開催されました」

日時：平成30年2月4日（日）午前10時～12時

会場：きらめきプラザ 4階401会議室



宮本事務局長による進行

冒頭、大本（だいもと）全腎協理事の挨拶があり、宮本事務局長の進行で、講演会が始まりました。

【講演内容】

1. 「臓病患者のフットケア」

講師：坪田邦子様（しげい病院 看護師）

PDA（抹消動脈疾患）について、具体的かつ写真による丁寧な説明が行われました。ショッキングな映像もあり、フットケアの大切さを感じました。足の病変は、進行が極めてはやいので、自分でチェックをすることを怠らないことが、とても大切であることを強調されました。



大本全腎協理事の挨拶

2. 「腎臓患者とリハビリテーション」

講師：井本洋史様（しげい病院 理学療法士）

腎不全透析患者における運動の効果について、多くの点で改善点がみられることを、事例に基づいて解説をして頂きました。運動は、身体に合った、無理のない範囲で、長く続けていくことが必要であり、そのための具体的なやり方（例：ルディックウォーキング等）の説明もありました。



大王副理事長の講演

3. 「腎友会（患者会）の意義」

講師：大王浩喜（岡山県腎臓病協議会 副理事長）

自身30年の壮絶な透析ヒストリーを、淡々と語るなかに、地域格差や職場環境等透析治療とは異なるところで、いろいろな労苦を体験していることに、多く感じることがありました。また、患者会による地道な活動（国への連日の陳情等）により今の治療が受けられ、その他多くの成果が結実したことを、忘れずに、感謝の気持ちを持って生きてほしいと、力強いメッセージがありました。



講演会場風景



坪田看護師の講演



井本理学療法士の講演

